

企業・人材プール 2017 年度 講義実施報告書

2018 年 5 月



はじめに

本会は、「ものづくり」「まちづくり」「ひとづくり」を活動の3本柱としており、これらの中でも「ひとづくり」は、「ものづくり」「まちづくり」を支える極めて重要な課題です。

そこで本会では、大学でのキャリア教育の充実に向けた産学連携による人材育成の実践策として、本会の会員企業から会員大学の講義に講師派遣などを行う「企業・人材プール」を2014年度から試行し、2017年度から本格的に開始しました。

本報告書は2017年度の実施報告書を取りまとめたものです。今後も本事業の内容充実に努めてまいりますので、皆様の引き続きのご協力・ご活用をよろしくお願い致します。また、ご活用を検討されている会員の皆様の参考になれば幸いです。

企業・人材プールについて

(1) 目的

- ①昨今、低下していると言われる学生のコミュニケーション能力、チームワーク、主体性等の「社会人基礎力」を向上させる取り組みを行うこと
- ②学生に対し、実社会の動き・雰囲気等を、企業人から直接に伝える中で、大学での学びに対するモチベーションを向上させること
- ③企業が求める人材像の共有化、企業ニーズの教育カリキュラムへの反映等に向け、企業と大学が、具体的な内容に即してコミュニケーションを行う機会を増やすこと

(2) 概要

- ご登録頂いた会員大学の授業についてご登録頂いた会員企業から講師を派遣頂く
- 企業から提出された「相談可能な講義内容」の中から実施を希望する内容について大学は本会に連絡し、本会は企業と大学の引き合わせを行う

(3) 2017年度の実績

- 会員企業 50 社・団体から 135 件の「相談可能な講義内容」を会員大学に提供
- 8 大学において 22 社・団体が 43 コマの講義を実施

目次

＜実施報告書（実施日付順）＞

①大学×A社.....	1
①大学×B社.....	2
②大学×C社.....	3
①大学×D社（1回目）.....	4
①大学×D社（2回目）.....	5
③大学×E社.....	6
④大学×F社（1回目）.....	7
②大学×G社.....	8
⑤大学×企業6社（春学期分）.....	9
②大学×H社.....	10
②大学×I社.....	11
①大学×J社（1回目）.....	12
⑥大学×K社.....	13
①大学×J社（2回目）.....	14
④大学×L社.....	15
⑦大学×M社（1回目）.....	16
⑦大学×M社（2回目）.....	17
④大学×F社（2回目）.....	18
①大学×N社（1回目）.....	19
①大学×N社（2回目）.....	20
⑦大学×O社.....	21
⑤大学×企業10社（秋学期分）.....	22
①大学×P社（1回目）.....	23
①大学×P社（2回目）.....	24
②大学×Q社.....	25
企業・人材プールの満足度および事務局に頂いたご意見・ご要望等.....	26

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017.4.13 16:20～17:50
	講義等担当企業名	A社
	講義等の種類(選択)	企業経営者の経験談
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	24名
	講義等の目的・狙い	経営者の視点にふれることで、会社の概要や社会的使命、仕事について考える。
	講義等のテーマ	経営幹部講話 マネジメント
	講義等の内容(プログラム)	1. 会社説明 2. 仕事経験(若手、中堅、現在) 3. 若者に求めること
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	非正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	講演を聞き、道路は単に道路としての役割だけでなく、食料や資材などの輸送をはじめとした人々の暮らしや社会活動の当たり前をつくっているとあらためて感じた。また、その技術力が海外に輸出されている点、高く評価されている点もとても印象的で、スケールの大きな経済について考えることができた。
	担当教員のコメント	経営TOPの考え方や仕事経験、人生経験を聴講することで、会社の生業や職業感を学ぶことができた。
	反省点・改善すべき点	第1回目に位置づけて実施。非常に有意義な内容であり学生にとってもとても響きのある内容であった。今後は理解度を向上させるためにも、ぜひともプログラムの中盤以降に聴講させ、より学生に響かせたい。
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017.4.19 16:20～17:50
	講義等担当企業名	B社
	講義等の種類(選択)	企業経営者の経験談
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	26名
	講義等の目的・狙い	経営者の視点にふれることで、会社の概要や社会的使命、仕事について考える。
	講義等のテーマ	経営幹部講話 マネジメント
	講義等の内容(プログラム)	1. 会社説明 2. 仕事経験(若手、中堅、現在) 3. 若者に求めること
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	非正課	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	組織図の構造が体の循環系に似ていると思いました。それぞれが作用することによって会社として成り立っていておもしろいと思いました。また、話を聞いていて無理を無理だと思わない姿勢やなにも知らなかったからこそ吸収していけるんだと思いました。また、失敗を失敗のままにしないで経験に変えていくということや先義後利の言葉が印象的でした。
	担当教員のコメント	経営陣のこれまでの仕事経験に触れることで、仕事について前向きに関心を持つことができた。
	反省点・改善すべき点	第1回目に位置づけて実施。非常に有意義な内容であり学生にとってもとても響きのある内容であった。今後は理解度を向上させるためにも、ぜひともプログラムの中盤以降に聴講させ、より学生に響かせたい。
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017.5.17 09:20～10:50
	講義等担当企業名	C社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	23名
	講義等の目的・狙い	経営企画の役割と事業計画策定の業務に興味を抱かせる。
	講義等のテーマ	企業における『経営企画部』の役割
	講義等の内容(プログラム)	1 業界・会社紹介 2 経営企画の役割 3 経営ビジョンと利益計画の策定 4 経営企画部の仕事のやりがい
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	正課	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	・経営企画はとてもやりがいがあり、会社の将来に大切な役割を担っていることが理解できた。 ・組織を動かすのはヒトであり、刻々と変化する世の中に対応していくことが大切であると感じた。 ・もっと経営に関する知識・能力を身に付けなければならないと痛感した。 ・将来、経営企画部のような部署に所属して、組織の中核となるような存在になりたいと感じた。 ・経営企画の仕事では、コミュニケーション能力が重要であると理解できた。
	担当教員のコメント	・学生には事前に事業計画に関するテキストを読ませており、その内容に合う形でお話いただいたため、より深い理解につながったものと思う。 ・経営企画という仕事に興味を持たせることができ、経営・会計の知識の必要性がしっかり伝わったと思う。レポートでも同様の意見がみられた。 ・専門的になりすぎず、平易にお話いただき、大変興味深い内容であった。
	反省点・改善すべき点	・講義内容についてはレポートからも好評であったが、折角の機会なので学生にもっと質問を促すべきであった。
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017.5.17 16:20～17:50
	講義等担当企業名	D社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	10名
	講義等の目的・狙い	学生にグローバルな視点を身に付けさせ、視野を拡大させたい。
	講義等のテーマ	グローバル社会で活躍できる人材
	講義等の内容(プログラム)	1. 自己紹介 2. 海外勤務での経験談 3. コミュニケーションの重要性
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	非正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	グローバル人材に必要なことを独自の視点で教えていただき、大変わかりやすく、違った文化だからこそ、新しいものが生まれたり、現状が良くなったりと、世界は広くて身近だと思った。他文化を知るためには、自国の文化を良く知ることが大事だという話が一番印象に残ったワードでした。
	担当教員のコメント	グローバル社会＝会話力と捉えるのではなく、文化や考え方の違いを認め合うダイバーシティの考え方を学び、視野拡大につなげることができた。
	反省点・改善すべき点	講義前に、事前に学生の視点・視座を導くことで、グループディスカッション時にもっと活発な意見を導くことが出来た。
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017.5.18 16:20～17:50
	講義等担当企業名	D社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	16名
	講義等の目的・狙い	学生にグローバルな視点を身に付けさせ、視野を拡大させたい。
	講義等のテーマ	グローバル社会で活躍できる人材
	講義等の内容(プログラム)	1. 自己紹介 2. 海外勤務での経験談 3. コミュニケーションの重要性
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	非正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	Face to Face という言葉が印象に残っている。他国の言語や文化に触れたときに大切なことは、直接顔を合わせて自分の考えを相手に表すことであり、そのためには自己の表現法を磨かなければいけないと思った。若いうちからさまざまなコミュニケーションの機会を持つことで、グローバルな世界を身近なものにできると感じた。
	担当教員のコメント	グローバル社会＝会話力と捉えるのではなく、文化や考え方の違いを認め合うダイバーシティの考え方を学び、視野拡大につなげることができた。
	反省点・改善すべき点	講義前に、事前に学生の視点・視座を導くことで、グループディスカッション時にもっと活発な意見を導くことが出来た。
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	6月27日 14:45—16:15
	講義等担当企業名	E社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	22名
	講義等の目的・狙い	物理・数学が社会の中でどのように活かされているか実例を通して理解する。
	講義等のテーマ	物理・数学と社会
	講義等の内容(プログラム)	講師による講演、演習、その解説
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	基礎知識をもとに、答えが不確かな問題に対して仮説を立て、検証していく重要性が分かった。
	担当教員のコメント	今後の自動車産業の動向見通しも含めた講義で、学生も非常に興味を持って聴講していた。演習問題も興味深く、大変有益な講演であった。事前にメールや直接会って授業内容を吟味したことが功を奏したと思う。
	反省点・改善すべき点	1コマでは時間的に足りない面もあり、1つのテーマ、一人の講師で複数回行う可能性も検討しても良いと思われる。
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	7月4日(14時45分～16時15分)
	講義等担当企業名	F社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	1年生～4年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	292人
	講義等の目的・狙い	グローバル人材育成。大学生の立場から日本を発信するための基礎段階として「日本」への理解を深める。
	講義等のテーマ	日本を発信する「日本企業の海外進出」
	講義等の内容(プログラム)	1 事業・仕事内容、2生い立ち、3大学生生活、4就職活動、5入社、6入社7年目の留学希望、7上海へ 8石の上にも3年、9中国語、10印象深い人、11師と呼べる存在、12未来を担う皆さんへ
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	・繊維産業で中国進出をしているというのに驚きました。車とかは聞いたことがあったけど、布で進出しているのは聞いたことがなかったです。 ・企業の海外進出の中で仕事をする大変さが伝わってきた。 ・大学での失敗を教えてくださいましたのすごくためになった。
	担当教員のコメント	海外駐在員の具体的なイメージが明確になったというコメントが多く、学生のグローバル人材への理解が深まったといえる。また、講師の学生生活や仕事での成功談だけでなく、失敗談も含めてご講演いただいたので、学生たちにとって将来のロールモデルとして位置づけやすく、海外で働くことに興味を持つ、大きな動機付けになるだろう。
	反省点・改善すべき点	学生のコメントから、中国での企業活動や勤務地上海の事情など、講師の経験を踏まえ、もっと聞いてみたいという声があがった。次回、12月の講演ではこれらトピックについてもう少し時間を増やし、お話いただければ幸いです。
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017.7.10 13:30-15:00
	講義等担当企業名	G社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	3年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	50名
	講義等の目的・狙い	利益計画と予算管理の実際の取り組みをご紹介いただくことで、管理会計について興味を抱かせること
	講義等のテーマ	利益計画と予算管理の実際
	講義等の内容(プログラム)	1. 会社・業界の紹介 2. 経営計画の策定と予算編成の内容 3. 管理会計業務の仕事としてのやりがい
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	正課	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	・普段授業で習っている管理会計の知識が、社会に出てからも役立つことがわかった。 ・講演を通じて管理会計業務の担う役割の重要性を感じた。 ・型にはまった教科書の言葉ではなく、実務家の生の声を聞くことで理解が深まった。
	担当教員のコメント	・管理会計のテキストに合致する内容であったため、学生たちの深い理解につながったと思う。 ・経営企画という仕事のやりがい、重要性がしっかり伝わったものと思う。 ・B to B の企業ではあったが、専門的になりすぎず、平易にお話いただき、大変興味深い内容であった。
	反省点・改善すべき点	・事前に依頼していた時間配分でお話いただいたが、講師と学生との質疑応答の時間をもっと増やしてもよかったように感じた。
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	5/1、8、11、7/6、10、17、20
	講義等担当企業名	企業・人材プールから6社が7コマの授業に協力
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	主に1年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	6/5までは159名、6/8以降は140名
	講義等の目的・狙い	なぜ働くか、いかに働くかを考えるとともに、自身が目指すキャリアを獲得し、そのキャリアにおいて活躍するための基礎学力とは何かを明確にすること、さらに、キャリア形成を目指して自ら主体的に学ぶ姿勢を強固にすることなどを目的とする
	講義等のテーマ	社会人になる ― キャリア形成に備えた学び ―
	講義等の内容(プログラム)	・自己紹介のあと ・自身の仕事の内容とやりがい ・大学時代に取り組んだこと ・大学時代に学んだ何が現在の仕事に生きているか ・大学時代に何を学んでおけば良かったと後悔しているか ・社会人として「教養」の大切さを感じた経験 など
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	正課 (選択)	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	・大学1年生のうちから社会に対して目を向け、自分が将来どのように生きるかを意識することの重要性を学んだ ・本気で取り組んだことは無駄にならないということが聞けてよかった ・日常生活の中で、自分は何がやりたいのか、自分はどのように生きるのかを考えるようになった ・迷ったらやってみるという積極性がついた ・自分が将来どんな仕事に就くか、友達や家族と話すことが増えた
	担当教員のコメント	いずれの講師の方も、お忙しい中で時間をかけていただき、分かりやすく授業をしてくださいました。講師の方々はいずれも、サークル活動、アルバイト、大学での勉強、資格取得など、学生時代に活動的に取り組んだ経験は必ずどこかで生きることを話してくださいました。受験が終わって1年生の間は休養とばかりに、学ぶでもなく、部活動に専念するでもなく非活動的な生活をおくっていた多くの1年生に取って、講師の方がたのお話は良い刺激になったことと思います。ありがとうございました。
	反省点・改善すべき点	今年は昨年の2倍以上の学生が受講することになったこともあり、授業中に寝ている学生の絶対数が昨年度以上に増えてしまった。ただし、今年度はあらかじめ学ぶべき視点について話してあったことから、授業後に書かせているリアクションペーパーの中身は昨年よりも充実していたように思われる。また、学生同士の意見交換の時間を複数回もうけ、グループ発表の機会なども入れたことで教室で講師に対して質問をすることに対するハードルは若干下げられたと感じる。
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	10月13日(金)17:00-18:30
	講義等担当企業名	H社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	1年次から3年次
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	41名
	講義等の目的・狙い	主に低年次生に対するキャリア教育のため
	講義等のテーマ	グローバル社会で活躍できる人材とは
	講義等の内容(プログラム)	将来の仕事として、海外や語学に興味・関心を持つ学生に対し、海外と関わる仕事に必要な能力・資質について考えさせ、身に付けさせる。
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	非正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	金融業界の海外での仕事は知らないことが多かったので、役に立ったと思う。言葉で何を伝えるのか、よく考えたいと思う。
	担当教員のコメント	長年金融業界に身を置き海外と接点を持ちながらご活躍された経験を丁寧にお話ししていただきました。
	反省点・改善すべき点	
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	10月16日(月)17:00-18:30
	講義等担当企業名	I社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	1年次から3年次生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	32名
	講義等の目的・狙い	主に低年次生に対するキャリア教育のため
	講義等のテーマ	女性の働き方について学ぶ
	講義等の内容(プログラム)	総合職か一般職か、それともエリア総合職かをはじめ、女性ならではの就職に対する迷いや不安を感じている学生が、実際に社会で活躍している方の体験談を聞くことで、自身の働き方について考える機会とする。
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	非正課	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	実際に働いている女性の体験談を聞くことができ、仕事や家庭に対してのイメージをすることができとても良かったです。
	担当教員のコメント	既婚・未婚のお二方が講師としてご担当いただいたことで、学生達は将来どのように働いていけるか考える機会になりました。
	反省点・改善すべき点	女子学生だけではなく、男子学生も参加させ一緒に考えてもらう機会にすることで、よりよい取組にできるのではないかと感じました。
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017.11.2 16:20～17:50
	講義等担当企業名	J社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	2・3年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	16名
	講義等の目的・狙い	東海エリアの産業や特色を学び、経済の動向に関心をもつ。また計数感覚を身につける。
	講義等のテーマ	時事情勢トレンド講話
	講義等の内容(プログラム)	・統計資料についての解説 ・統計を使ったグループディスカッション
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	非正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	ニュースで聞いて知ってはいたことも、お話とデータの読み取りがあることで、理解し納得することができた。中部地域の特徴を根拠あるものとして捉えることができた。
	担当教員のコメント	データで裏づけされる理論と活用方法を学び、またデータから様々なことを読み取る力を養うことの重要性を学ぶことができた。
	反省点・改善すべき点	特に無し
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017年11月7日 13:00～14:30
	講義等担当企業名	K社
	講義等の種類(選択)	会社・工場見学
	対象学年	3年次
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	19人
	講義等の目的・狙い	持続可能な社会を形成するためには、限られた資源を節約して利用し、可能な限り循環利用することが望ましい。本講では、廃棄物資源と水資源に注目し、その管理手法を学ぶとともに、対象資源、対象物質に応じた処理技術、リサイクル技術、ならびに資源の回収技術を学ぶ。
	講義等のテーマ	家電リサイクル法、小型家電リサイクル法
	講義等の内容(プログラム)	家電及び小型家電のリサイクル工場を見学し、リサイクルの現状や課題・問題点を学ぶ。
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	正課	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	・とても分かりやすい説明でした。 ・「資源循環工学」の授業を通してリサイクルについて学んでいるが、今回の見学で授業で学んだ事や授業では触れていない事まで、より深く知ることができた。 ・一つの家電品を一人ですべて解体している点、しかも非常に短時間で解体を完了されていることに驚きました。 ・委託料と再資源化商品の売上だけで利益を出していることに驚いた。また、再資源化商品を売るためにさまざまな工夫をしていることがわかりました。 ・回収業者に家電品を出したことがあったので、今後はちゃんとした業者さんにたのもうと思いました。
	担当教員のコメント	・手作業による解体作業の迫力にほとんどの学生が驚いていました。 ・手作業による解体、機械による破碎、その後の材料別の回収という中間処理の工程を現場と模型を使ってとてもわかりやすく説明していただきました。 ・トラブルがあったため、時間が十分に取れなかったのが大変残念でした。
	反省点・改善すべき点	
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017.11.8 16:20～17:50
	講義等担当企業名	J社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	2・3年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	27名
	講義等の目的・狙い	東海エリアの産業や特色を学び、経済の動向に関心をもつ。また計数感覚を身につける。
	講義等のテーマ	時事情勢トレンド講話
	講義等の内容(プログラム)	・統計資料についての解説 ・統計を使ったグループディスカッション
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	非正課	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	分析・比較の方法だけでなく、具体的な読み取りや切り口を交えて、データや知識が社会でどう求められるのかという理由が聞けた。
	担当教員のコメント	データで裏づけされる理論と活用方法を学び、またデータから様々なことを読み取る力を養うことの重要性を学ぶことができた。
	反省点・改善すべき点	特に無し
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	平成29年12月5日 3時限(1:00～2:30)4時限(2:45～4:15)
	講義等担当企業名	L社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	3時限(86名)4時限(13名)
	講義等の目的・狙い	『ビジネスコミュニケーション』という授業(15コマ)の中で、実際に活躍されている方のお話を学生に聞かせたいという目的でした。3年次インターンシップや就職活動に向かうまでの1年間を有効に過ごすためのヒントを掴んで欲しいという狙いもあります。
	講義等のテーマ	「製造業における文系学生の活躍の場」
	講義等の内容(プログラム)	1. 会社概要とBtoBの重要性 2. トヨタ系グループと世界の動向 3. 文系学生の職種 4. 講師自身のキャリア、反省や教訓 5. 就職活動に対するアドバイス 6. 質疑応答
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	・有名な企業ばかりが良いのではなく、BtoBの会社の凄さを知った。 ・世界で活躍するメーカーの概要を知ることができた。 ・文系の学生がする仕事は営業が主だと思っていたが、生産管理など色々な仕事があることが分かった。 ・「できません」「無理です」とは簡単に言わず、努力する大切さを改めて知った。 ・講師の方がトイックを22回も受けて後輩にお手本を示している姿に感動した。自分も英語の勉強を頑張ろうと思った。 ・インターンシップや就職活動の話が具体的で面白く、私達を応援してくれて嬉しい。
	担当教員のコメント	事前のご相談からとても好意的にしてくださり、当日も素晴らしい講演でした。大規模教室でも全員を飽きさせない話の展開、パワーポイント画像も素晴らしく、学生も熱心に受講しました。製造業における文系学生は、どのような役割を果たすのか、そのモデルを見せていただきました。
	反省点・改善すべき点	3時限の履修生は92名ですが、欠席者が6名もいました。愛知学生新人バトミントン選手権という公式大会に出場するための欠席者が3名いて、本人達も残念がっていました。公式大会の開催は、授業に支障の無い週末にして欲しいと願います。
その他	後日、学生のレポートや感想文を郵送しました。	

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017.12.08 16:20～17:50
	講義等担当企業名	M社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	236名
	講義等の目的・狙い	第一線のコンプレッサー設計者としての仕事の様子を通して、工学の基礎を学ぶ学生に対する将来のエンジニアに向けて大学で学ぶべきことや動機付けを高める。
	講義等のテーマ	技術者として働くこととは ～今後のキャリア形成に向けて～
	講義等の内容(プログラム)	1. 自己紹介, 2. 会社紹介, 3. 業務紹介, 4. 会社生活紹介, 5. 学生時代と今, 6. 学生へのメッセージ
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	将来仕事をする上で基礎を学生時代に学んでおくことの大切さを知った, 将来の仕事への動機づけができた。
	担当教員のコメント	このような講演はたまには必要だと思う。そういう意味では自主に任せず学生に聞かせる方法は有効である。しかし、講義の一環としてこれを何度も実施するには相当の工夫が必要である。
	反省点・改善すべき点	運営の仕方に一貫性がもてず、私のこの講義に対する理解不足と準備不足があった。そのため、一部の学生からは、内容は良いが、運営の効率が悪いことに対して不満があった。私がmoodleを使いこなせていないことも反省している。
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017.12.13 13:00～16:10
	講義等担当企業名	M社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	171名
	講義等の目的・狙い	学生の専門と関連する分野の企業で活躍する技術者から、仕事ぶりをおはなしいたき、質問を交えてキャリア意識を涵養する。
	講義等のテーマ	技術者としての日々の仕事・生活、専門知識の活用・獲得(キャリア教育として)
	講義等の内容(プログラム)	キャリア意識を涵養するためキャリアデザインの入門・演習、キャリアセミナーを実施する。キャリアセミナーにおいて、ベテラン技術者、中堅、若手技術者等様々な企業人から話しを聞き、経験を共有する。本講義は其中で若手技術者からのセミナーを実施いただいた。
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	正課	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	学生時代に学んでおくべきこと、あきらめずに努力をするべきこと、仲間意識、等を知ることができた。年齢が近い先輩からの話で少し気を楽しんで聞いたが、社会人はやはり違うと感じた。就職活動や将来を考える参考になった。
	担当教員のコメント	お二人の若手企業人に後輩へのアドバイスといった位置づけでお話をいただいた。この回の前週にベテラン技術者の話を聞いており、学生は比較しながら聞いたようである。彼らと近い世代からの話は、直接響く言葉であったようである。
	反省点・改善すべき点	学生との交流をとっていただいたため、講義の半分を質問の時間にしたが、学生はさらに交流を求めているように思われる。さらなる改善があってもよい。 学生からの質問を事前に整理するなどしてもよいように思われる。
その他	M社様には、本授業の意図をよく理解いただき、適切な資料、人材の紹介をいただいたこと、感謝しております。	

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017年12月19日(14時45分～16時15分)
	講義等担当企業名	F社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	1年生～4年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	290人
	講義等の目的・狙い	グローバル人材育成。大学生の立場から日本を発信するための基礎段階として「日本」への理解を深める。
	講義等のテーマ	日本を発信する「日本企業の海外進出」
	講義等の内容(プログラム)	1 事業・仕事内容、2生い立ち、3大学生生活、4就職活動、5入社、6入社7年目の留学希望、7上海へ 8石の上にも3年、9中国語、10印象深い人、11師と呼べる存在、12未来を担う皆さんへ
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	・「郷に入れば郷に従え」という言葉が心に響いた。価値観を持つことは大事だが柔軟に現地の人たちの考え方を尊重することで自分自身も成長できるとわかった。 ・繊維会社はどのようなことをしているのかよく知りませんでした。海外にこんなにも進出していることを初めて知りました。 ・多くの日本企業が海外に進出しておりその事例等は色々な授業で聞きますが海外進出に関わる個人のお話を聞くのは初めてで貴重なお話が聞けたと思います。
	担当教員のコメント	学生にとって、第一線で活躍する方の講演は普段の授業では聞けない現場の声を聞く機会となり、大変刺激になったようだ。また、事前アンケートでは海外駐在員とは一部のエリートになる特権階級というイメージを多くの学生が持っていたが、講師の学生生活や仕事の経験を聞くことを通し、自分たちと同じような経験を持つ先輩が努力をして今の立場を築いたことを知り、自分自身の大学生生活のあり方を考える機会となったようだ。
	反省点・改善すべき点	学生のコメントから、繊維商社の仕事内容や講師の担当する仕事内容をもっと聞いてみたいという声が数名からあがっていた。多くの学生にとっては、大変有意義だったという感想を持っていた。
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017.12.20 16:20～17:50
	講義等担当企業名	N社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	2・3年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	15名
	講義等の目的・狙い	働き方改革を正しく理解するとともに、変革する労働環境に対する現代企業の取り組みや工夫を知る。
	講義等のテーマ	「現代の労働環境 人事制度・労務環境への取り組み」
	講義等の内容(プログラム)	・「職業観」を感じる経験談 ・「働き方改革」に対する社内の取り組み ・OBOGの仕事経験談
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	非正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	企業の理念・方針は、自分と企業の相性を知ることができるものであり、企業の魅力が出ると知った。事業内容や、製品の背景にある考え方を感じ取ることができた。
	担当教員のコメント	現代企業の働き方改革についての最新情報を理解すると共に、社会問題(少子化問題、AI等)の深刻さを改めて認識した。
	反省点・改善すべき点	特に無し
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017.12.21 16:20～17:50
	講義等担当企業名	N社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	2・3年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	8名
	講義等の目的・狙い	働き方改革を正しく理解するとともに、変革する労働環境に対する現代企業の取り組みや工夫を知る。
	講義等のテーマ	「現代の労働環境 人事制度・労務環境への取り組み」
	講義等の内容(プログラム)	・「職業観」を感じる経験談 ・「働き方改革」に対する社内の取り組み ・OBOGの仕事経験談
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	非正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	就業規則や給与のことはもちろん、話やキーワードが具体的で理解しやすかった。
	担当教員のコメント	現代企業の働き方改革についての最新情報を理解すると共に、社会問題(少子化問題、AI等)の深刻さを改めて認識した。
	反省点・改善すべき点	特に無し
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2017.12.21 16:20～17:50
	講義等担当企業名	〇社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	119名
	講義等の目的・狙い	実践的工学技術者としてのキャリア意識を育成する。
	講義等のテーマ	技術者としての経験談
	講義等の内容(プログラム)	量産部品の超工程集約を実現するニューコンセプトマシン (i) 回転工具による粗加工技術の開発 (ii) 機上レーザ熱処理技術の開発 (iii) 可変傾斜研削法の開発(仕上げ加工) (iv) 高精度砥石自動交換機構の開発 (v) 高速高精度多自由度メカニズムの開発
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	失敗談を聞くことができてよかった。
	担当教員のコメント	学生の専門と講師の専門が異なっていたが、その点を考慮して、わかりやすい講義をしていただけた。
	反省点・改善すべき点	学生の質疑が活発ではなかった。
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	10/6、12、13、19、12/7、8、14、21、22
	講義等担当企業名	企業・人材プールから10社が12コマの授業に協力
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	1年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	10月実施分は66名、12月実施分は88名
	講義等の目的・狙い	なぜ働くか、いかに働くかを考えるとともに、自身が目指すキャリアを獲得し、そのキャリアにおいて活躍するための基礎学力とは何かを明確にすること、さらに、キャリア形成を目指して自ら主体的に学ぶ姿勢を強固にすることなどを目的とする
	講義等のテーマ	社会人になる ― キャリア形成に備えた学び ―
	講義等の内容(プログラム)	・自己紹介 ・所属企業が社会において果たす役割 ・組織内での業務区分 ・職務上必要とされる知識や能力 などについて、個々の所属団体の宣伝ではなく、業種の代表として講義。
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	正課 (選択)
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	・自分の将来を考えるという意識が格段に上がった。 ・就職は先のことと思って何となく過ごしていたことを反省した。 ・こういう授業を高校生のうちに聞きたかった、高1の文理選択の時に聞いていたら頑張って理系に進んだと思う。 ・将来性を考えると、B to B企業というのが狙い目かと感じた。 ・世の中の仕組みが少しわかったような気がして楽しかった。 ・公務員より絶対企業のほうが面白そう。 ・文系でもモノづくり企業に行けるというのが新鮮だった。 ・将来を見据えないとマズイと思った。 ・資料がシッカリしているので、取っておいて読み返そうと思う。 ・先生も言っていたが、自分たちが立派な企業から期待されていると思うと嬉しかった。
	担当教員のコメント	いずれの講師の方も、シッカリ準備をして授業に臨んで下さいました。昨年同様、様々な業種、業界の方に来ていただきましたが、どの方も、自身の仕事にやりがいを感じ、会社に誇りを持って生き活きと語っておられるのが印象的で同じ社会人として頼もしく思いました。
	反省点・改善すべき点	今年度から単位に関わる制度を変更したため、受講者が増えた。しかしながら、前期授業同様、より大勢の学生の中での講義となったため、質問が出にくく、講師の方々に余計な気を遣わせてしまった。人数が増えたことで意識の低い学生の数も必然的に増えたが、授業途中のチェックを厳しくしたため寝ている学生が昨年に比べて少なかったことはよかった。ただし、コメントペーパーの内容に深みが無く、学生の意識がある程度以上に高まらないのは1年生であることが最も影響していると思われる。次年度は文系学部3年生が聴講可能な時間帯に開講することに変更したので、この点については改善される可能性がある。
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2018.1.17 16:20～17:50
	講義等担当企業名	P社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	2・3年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	3名
	講義等の目的・狙い	変革する社会に活躍するためのコンピテンシーと、やりがいを学び、自分の将来像に夢を持つきっかけとする
	講義等のテーマ	「これからのビジネスマンに求めること」
	講義等の内容(プログラム)	・会社概要 ・仕事のやりがいを学んだ経験談 ・学生へのメッセージ
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	非正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	どのような企業かは、直接会って話さなければわからないとお聴きしたとおり、P社がどのような企業で、またどのようにあろうとしているかがわかりました。
	担当教員のコメント	グローバル社会におけるビジネスマンの考え方や行動力を学ぶとともに、学生の視野や考え方の拡大と共に、これからのビジネススタンダードを学ぶことができた。
	反省点・改善すべき点	
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2018.1.18 16:20～17:50
	講義等担当企業名	P社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学年	2・3年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	3名
	講義等の目的・狙い	変革する社会に活躍するためのコンピテンシーと、やりがいを学び、自分の将来像に夢を持つきっかけとする
	講義等のテーマ	「これからのビジネスマンに求めること」
	講義等の内容(プログラム)	・会社概要 ・仕事のやりがいを学んだ経験談 ・学生へのメッセージ
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	非正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	何かをするには準備が必要だと話されていて、将来の職業に関しても逆算して準備をしていこうと思いました。
	担当教員のコメント	グローバル社会におけるビジネスマンの考え方や行動力を学ぶとともに、学生の視野や考え方の拡大と共に、これからのビジネススタンダードを学ぶことができた。
	反省点・改善すべき点	
その他		

中経連「企業・人材プール」 講義等実施報告書(様式6)

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2018年1月24日14時～17時30分
	講義等担当企業名	Q社
	講義等の種類(選択)	会社・工場見学
	対象学年	2～4年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	40名
	講義等の目的・狙い	原価計算・原価管理の実践について学び、会計に対して興味を抱かせる。
	講義等のテーマ	製造業におけるコストマネジメント
	講義等の内容(プログラム)	1. 会社紹介・工場紹介 2. 工場見学 3. 講義(コストマネジメント)
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	非正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	(工場見学) ・現場での生産性向上のためのカイゼン活動を理解することができた。 ・人にやさしい工程作りを目指しつつ生産効率をアップさせる工夫に驚いた。 ・モチベーションを高める工夫についても観察することができた。 (講義) ・講義内容は適切でわかりやすかった。貴重な話が聞けて、有意義であった。 ・PDCAサイクルを回すことが会社の成功に直結していることが分かった。 ・治具の見直し、省人化の例を通じて、原価改善をよく理解することができた。 ・原価計算制度、IFRSの適用状況について、学ぶことができた。
	担当教員のコメント	・工場では、安全にも気を遣いつつ、間近で生産ラインを見学させていただいた。 ・工場見学によって、ものづくりの流れ、原価改善への取り組み、現場従業員のモチベーション、安全管理について、学生たちは十分に学ぶことができた。 ・講義では、原価計算テキストで学んでいる内容にあわせて実務紹介をしていただき、学生たちの理解が十分に進んだ。 ・講義後の質疑応答において、多くの質問がでるなど、学生の関心は高かった。
	反省点・改善すべき点	・準備段階において、担当教員の都合で連絡が遅れた点を反省しております。
その他		

企業・人材プールの満足度および事務局に頂いたご意見・ご要望等

1. 企業・人材プールに対する満足度（アンケート結果より。4段階評価）

- ・担当者から講義目的が達成された旨の報告があり、また学生からのコメントも良好であったため、満足度は高いと考えている。（1：大変満足）
- ・『資源循環工学』の授業を通してリサイクルについて学んでいるが、今回の見学では授業で学んだ事や授業では触れていない事までより深く知る事ができた」など、学生からの高い評価が多かった。担当教員（工場見学引率者）からも、手作業による解体、機械による破碎、その後の材料別の回収という中間処理の工程を現場と模型を使ってとてもわかりやすく説明していただいた、とのコメントがあった。（1：大変満足）
- ・大変わかりやすいスライドを用いて、お仕事内容などを中心にご説明をいただくことができた。学生の反応は大変よく、また講師は学生の質問にも適切に答えていただいた。本学の多様な工学分野にマッチした多様な分野の講師を用意いただけるといっそうありがたい。（2：満足）
- ・希望する内容に近い講義を提示頂いた。（2：満足）
- ・今後の自動車産業の動向見通しも含めた講義で、学生も非常に興味を持って聴講していた。教員が事前に講師とメール連絡やお会いし、授業内容を吟味したことが奏功したと思う。（2：満足）
- ・仕組み自体に慣れていないため、大変満足とは思えない。しかし、不満や困っていることがあるわけでもない。（2：満足）
- ・忙しい時期にボランティアで時間を割いて頂いているだけでも有難い。（2：満足）

※「3：やや不満」、「4：不満」はなし。

2. 大学から企業にお願いしたいこと

- ・配布資料の準備が授業間際にならないようお願いしたい。
- ・お願いしたコメントペーパーへの評価をご返送頂きたい。

3. 企業からの大学にお願いしたいこと

- ・出席者が非常に少なかった。講師は準備等にも時間を割いて講義を行っており、大学側には有効な活用と運用を考えて頂きたい。
- ・事前に説明頂いていたよりも受講者が少なかった。
- ・講義の最中に居眠りする学生がいた。マナーのガイダンスを徹底して頂きたい。
- ・一般論になるが、学生のマナーが酷すぎる学校もある。社外講師を招くのであれば、学生に対して、それなりの事前説明をお願いしたい。
- ・学生側の意識にバラツキがあり、講義中の居眠り等も散見された。企業としては、より意識の高い学生に話をしたいと考えており、もう少し運営部分で改善して頂きたい。
- ・企業横断的な講義をご検討頂きたい（例：鉄鋼メーカー、自動車部品メーカー、自動車メーカーによる自動車産業についての合同講義）。
- ・日程や人選等会社の意向も加味した調整を早めをお願いしたい。
- ・学生の受講姿勢、性格、講師に求めていることなどの情報を事前に把握させて頂きたい。
- ・講義形式でも良いが、座談会形式にして企業側と学生側双方のコミュニケーションがとれるとより良くなるのではないかとと思われる。

4. 事務局から運営に係るご協力のお願い

- ・講義の実施希望に伴う企業の窓口担当者の方へのご連絡は速やかをお願いします。
- ・講義実施後は早めの実施報告書の提出をお願いします。

以 上